

## 会長通信 No. 15

2016年1月6日

(一社) 岩手県中小企業診断士協会

会長 宮 健

|    |                      |
|----|----------------------|
| 目次 | 1. 「みんなに優しく謙虚に」生きたい  |
|    | 2. 理論政策研修以後の主な動き     |
|    | 3. 経営診断学会との合同発表会     |
|    | 4. 新入会員を迎えました        |
|    | 寄稿「研究発表会体験記」(小田島広実)  |
|    | 【付】発表会スケジュール、写真、新聞記事 |

### 1. 「みんなに 優しく 謙虚に」生きたい

会員の皆様、明けましておめでとうございます。今年も健康に留意しながら、皆様ともども有意義な日々を送っていきたくと思っています。

私は1993年(平成5年)に経営コンサルタント事務所を開設して以来、毎年その年のキーワードをひとつずつ作り続けてきました。初年度に作ったのが「おはこ人生」(思いやり、反省、向上心)です。翌年が「なった気するな」でした。「挑戦無限」や「素直招幸」などといった四字熟語もあります。

今年のキーワードをあれこれ考えているうちに、自分の名前を織り込んだものにしてしようとの思いから、「み：みんなに や：優しく けん：謙虚に」としました。今年1年、このキーワードに恥じない生き方をしようと思っていますので、よろしくご協力をお願いいたします。

### 2. 理論政策研修以後の主な動き

主として私が会長の立場で参加した諸行事等(内部・外部)について、日誌風に紹介したいと思います。

- ①9月15日 「会長通信」No. 14 発行
- ②10月15日 金融庁「業務説明会及び意見交換会」(県公会堂)。県商工労働観光部、商工3団体、税理士会、公認会計士会、弁護士会などと。
- ③10月16日 中小企業診断協会北海道・東北事務連絡会議(仙台市)。協会本部、北海道・東北の各協会参加。来年度は当協会が幹事の予定。
- ④10月28日 グループ補助金審査会(県公会堂) 県、商工3団体などと。
- ⑤11月7日 経営診断学会東北部会との合同研究発表会(県立大学アイーナキャンパス)。当協会からの発表者・小田島広実。私は基調講演など。参加総数20人(会員7人)。終了後交流会開催(やまなか家大通店)。

- ⑥11月25日 士業懇談会例会（ホテルメトロポリタン）。県内12の士業団体の研修会・情報交換会。参加総数30名。当協会からは会長参加。
- ⑦12月5日 いわて実践診断士の会勉強会（やまなか家大通店）。  
講師は高橋庄平会員。テーマは「損益と資金の一体的把握」。参加者8人。
- ⑧12月8日 県知財総合支援窓口連携会議（マリオス、事務局・発明協会）。  
東北経済産業局、県、地元3行・盛岡信金、商工3団体、弁理士会などと。
- ⑨12月15日 中央会創立60周年記念式典&パーティ（ニューウイング）。
- ⑩12月17日 東北経産局「抜本再生加速化に向けた連絡会議」（会議所）。  
事務局・再生支援協議会。経産局、中小機構、よろず支援拠点などと。
- ⑪12月21日 商工会法施行55周年記念式典&パーティ（ニューウイング）。
- ⑫2016年1月5日 盛岡商工会議所の新年交賀会（ニューウイング）。

### 3. 経営診断学会との合同発表会

前述の研究発表会における当協会からの発表者は、小田島広実会員（テーマは「岩手県の外食産業概観」）です。このほか、県立大学准教授1人、学生2人が発表しました。小田島会員の「発表体験記」、スケジュール等を添付しました。

なお私は東北部会長の立場から、開会挨拶、基調講演（テーマは「決算書を利用する立場からの提言」）を行いました。閉会の挨拶は山火副会長が担当。

今後も毎年1回は研究発表会を実施する予定ですので、プロコン、企業内診断士を問わず、発表者として手をあげていただくようお願いいたします。

### 4. 新入会員を迎えました

11月6日付けにて、当協会に新会員を迎えましたので紹介します。

氏名：工藤 桂（くどう かつら・・・女性）

現職：2015年より横浜市にKUDOS MANAGEMENT 自営  
（神奈川県協会に入会しており、当協会とダブル加入）

出身地：岩手県田野畑村（高校、大学ともに会長と同窓です）

職歴：日本通運(株)旅行事業部、一般企業。脱サラして自営業の道へ  
東日本大震災の被災地（出身地近くの羅賀荘など）の復興に尽力  
したことをきっかけに、岩手県内でも中小企業診断士として活躍  
したいとの思いから、今回の当協会加入となった。

資格：中小企業診断士のほか日本生産性本部認定経営コンサルタント、  
旅行業務取扱管理者

ご本人と盛岡市内で面談しました。具体的な活動についてはこれからですが、会員の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

以上

## 【寄稿】

## 研究発表体験記

小田島 広実

平成 27 年 11 月 7 日に日本経営診断学会東北部会との共催で開催された研究発表会で発表しました。そのような場は初めての経験で、失敗もありましたがその体験をまとめました。

### 発表者になるまで

9月に事務局配信の発表者募集のメールを見たときは完全に他人事と思っていましたが、その後人づてに「宮会長から発表者の打診がある」と知らされました。正直返事に困りましたが、諸事情から断りづらく、他の方にも声を掛けているだろうと、消極的に「他にいなければ」と安請け合いました。

### 発表資料の作成 ～不安がいっぱい

その後見事(?)発表者に決まり、テーマを宮会長から提案された「岩手県の外食産業概観」にしたものの、内容をどうするか困りました。よくよくテーマを見ると「概観」とあり、数字から追うことにしてインターネットを調べると、色々な調査・統計が見つかります。ところが、まとまったデータは業界団体等による全国のもので、岩手となるとまるで集まりません。結局、経済センサスに行き着きましたが、これだけで発表時間の 25 分は埋まらないだろうと、途方にくれました。その後「東北 6 県外食業主要 50 社の業績動向調査」を見つけ、勤務先も載っていたので、これも使うことにしました。発表資料作りでは経験のなさから、「これで足りるだろうか?」と不安に駆られ、あれこれ足していき、気づけば提出期限になりました。もう資料を見直す時間がなく、後は発表本番で何とかしようと考えていましたが、今思えばこれが失敗のもとでした。

### 発表当日 ～衝撃の一言

何とか発表資料を作り発表当日に臨みましたが、発表資料を見た宮会長から「この資料だと 1 時間はかかるね」と。「・・・えっ!? そうなの」と衝撃を受けつつ「だいぶ端折りますから」と平静を装いましたが、かなりあせりました。案の定、発表は想定よりも早くベルが鳴り、あたふたし、所定の時間が過ぎても発表が終わらず、結局 30 分以上かかりました。進行の植竹先生、後の発表者の方々にはご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫びします。

### 経験

発表資料作成の段階から「伝えたいこと」をあまり考えず、事前に時間が足りないことがわかって削ってうまく収めることができませんでした。幸い今回の発表は、暖かく見守っていただき、失敗も大目に見てもらえました。失敗も含め、普段の仕事ではできない経験をさせてもらい感謝いたします。

## 部会活動

### 東北部会

#### 2015年の活動

##### 平成27年度 日本経営診断学会東北部会研究発表会

日時 2015年11月7日(土曜日)14:00~17:00

場所 いわて県民情報交流センター(岩手県立大学アイーナキャンパス)7階 学習室1

協賛 一般社団法人岩手県中小企業診断士協会

テーマ及び発表者 ■基調講演 14:05-14:50

一般社団法人 岩手県中小企業診断士協会会長 宮 健

テーマ:決算書を利用する立場からの提言

■自由論題 15:00-17:00(発表20分、質疑10分)

1. 岩手県中小企業診断士協会会員 小田島 広美

テーマ:岩手県の外食産業概観について

2. 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 4年 日脇 時生

テーマ:入居型介護施設における業務システムの構築

3. 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 4年 鳥居 勇起

テーマ:観光分野における地域情報の活用の提案

4. 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 准教授 岡本 東

テーマ:情報技術の活用による商店街活性化支援

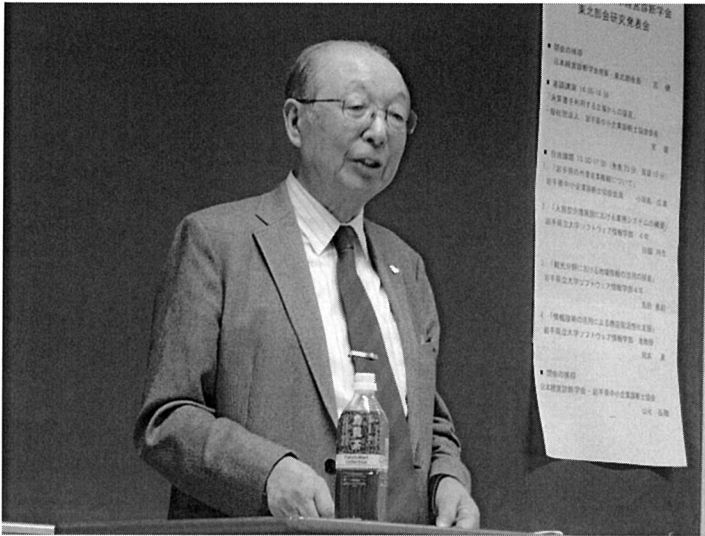
閉会の挨拶 山火 弘敬 日本経営診断学会・岩手県中小企業診断士協会

[→ 2014年度の活動報告](#)

[→ 2013年度の活動報告](#)

経営診断学会 東北部会との合同研究発表会の様子

(平成27年11月7日 県立大学アイーナキャンパス)

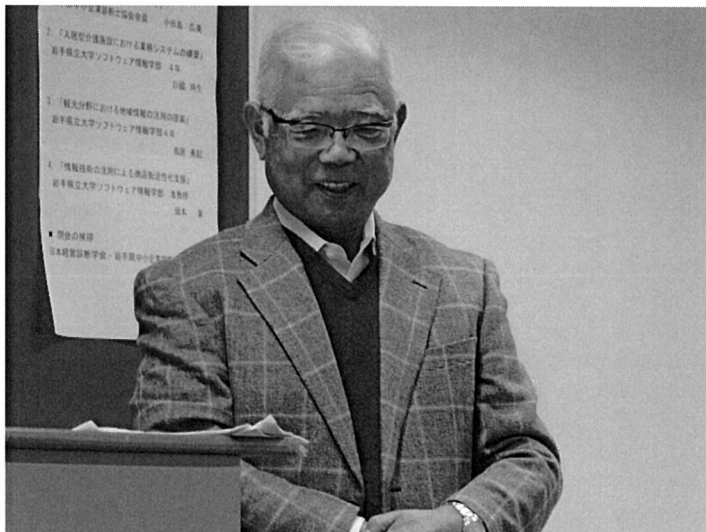
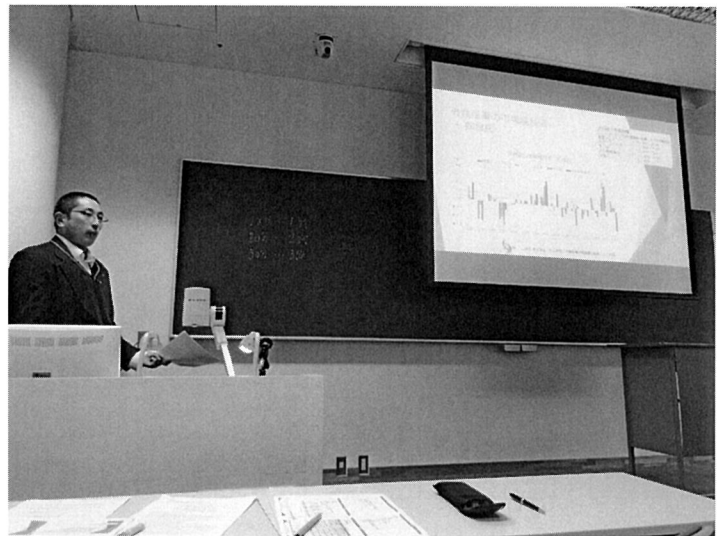


基調講演をする宮会長

講演テーマ  
「決算書を利用する立場からの提言」

研究発表をする小田島会員

発表テーマ  
「岩手県の外食産業概観」



閉会の挨拶をする山火副会長

# 景気「緩やかに拡大」最多

## 16年県内見通し 50社調査

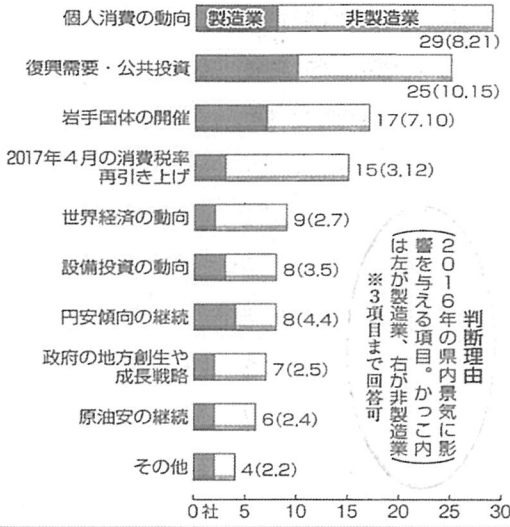
### 21社、前向き判断 復興需要や 国体を好感

岩手日報社は県内企業を対象とする景気動向に関するアンケート調査(回答50社)を行い、2016年の県内景気見通しについて「緩やかに拡大」とした企業が21社で最多となった。東日本大震災の復興需要や、岩手国体の開催が前向きな判断につながっている。力強さを欠く個人消費や世界経済の不透明感などに注意すべき要素は多いものの、新年の県内景気は地域独自の押し上げ要因もあり、比較的明るめを推移しそうだ。【調査結果、関連記事4面】

共同通信社の主要企業101社を対象としたアンケートでは、9社が「緩やかに拡大」した。調査結果、関連記事4面



「個人消費」を判断理由に選んだ企業は全体の6割近い29社あったが、うち見通しを「緩やかに拡大」としたのは3社だけだった。業種別は製造業(回答18社)、非製造業(同32社)とも「緩やかに拡大」が最多だった。



判断理由  
2016年の県内景気に影響を与える項目。かつこ内は左が製造業、右が非製造業 ※3項目まで回答可

【調査方法】昨年12月に県内主要企業を中心とする54社にアンケート用紙を送り、50社(回答率93%)の主として、役員、幹部社員から回答を得た。回答企業の内訳は製造業18社

「個人消費」を判断理由に選んだ企業は全体の6割近い29社あったが、うち見通しを「緩やかに拡大」としたのは3社だけだった。業種別は製造業(回答18社)、非製造業(同32社)とも「緩やかに拡大」が最多だった。

「個人消費」を判断理由に選んだ企業は全体の6割近い29社あったが、うち見通しを「緩やかに拡大」としたのは3社だけだった。業種別は製造業(回答18社)、非製造業(同32社)とも「緩やかに拡大」が最多だった。

製造業は半数の9社が拡大基調を予想し「緩やかに後退」は3社だけ。「岩手国体や平泉世界遺産5周年記念行事、インバウンドの増加傾向で観光に期待」(印刷業)などの声が聞かれた。非製造業は「緩やかに拡大」12社、「横ばい」11社、「緩やかに後退」9社で見通しにばらつきが出た。金融業に団体や再増税前の駆け込み需要の効果を予測する見方が強い一方、宮城建設(久慈市)の竹田和正代表取締役は「復興需要がピークアウトし、公共投資の拡大が見込めない。国体による宿泊・輸送・物販の活性化は一過性」と指摘。建設と目

動車販売は景況感が厳し。スーパーやドラッグストアは見方が分かれたが、「緩やかに拡大」とした企業は共

「昇」14社、「下落」7社の宮健会長は「今年よる仕入れ価格の上昇は不安材料。企業も実を賣上げや設備投資に向けた経済の好循環をどうつくれるかが課題」としている。



宮 健の

新・ズバリ寸評



宮 健氏

たつて、今年のキーワードをあこれ考えた結果、「みんなに優しく 謙虚

「その年のキーワード」を作ったのは、1993(平成5)年に経営コンサルタント事務所を立ち上げた年です。この年のキーワードが「お

たおかけて、1年間を無事に終えることができた。ありがたみを感じています。大きさを実感しています。

「謙虚即美德也」というキーワードを作りました。わたしは以前から、常に謙虚でありたいという願望を持っています。

「慢心」があると、心におごりがあると、つい言動に表れて、相手に不快感を与えてしまいます。その反省を踏まえて、向上しようと努力してきました。

また、京セラフィロソフィーの中の「常に謙虚であらねばならない」の項で、稲盛和夫氏は、「自分の能力やわずかな成功を鼻にかけ、傲岸不遜になるようなことがあると、周囲の人たちの協力が得られないばかりか、自分自身の成長の妨げにもなるのです」と述べています。心に突き刺さります。

みんなに優しく 謙虚に

明けましておめでとうございます。皆さまにとりまして本年が良い年でありませう、心より「祈念申し上げます。どうぞ本年も「愛読くださいますようお願いします。」と申し上げます。

「に」としました。実は「の」三つの単語の頭文字をつなぎ合わせる、「み・や・けん」となります。つまり、「わたしの名前を織り込んだキーワード」といっわけです。

それから23年。毎年欠かさず作り続けてきたので、今回で24個になります。ちなみに昨年は、「鍛身磨心」(たんしんましん)でした。年間を通じて、「このキーワード(特に鍛身)

思っています。「優しく」はこの「お」(思いやり)に通じる心遣いかなと思っています。決して「上から目線」ではなく、心から相手に優しく寄り添うことを信条に、経営コンサルタント

た。オーバーな言い方をすれば、謙虚は人間にとって最高の美德ではないかと思っています。わたし自身、この心境に至るまでには、幾つかの失敗がありました。失敗の原因は、後から考え

「道をひらく」を開いてみると、全編を通じて、「素直」と「謙虚」の二つのキーワードが繰り返して出てきます。一例を挙げると、「是非善悪以前」の項に、「得意におこらず失意に落胆せず、平々淡淡、素直に謙虚にわが道をひらいてゆけるのではなからうか」とあります。

また、京セラフィロソフィーの中の「常に謙虚であらねばならない」の項で、稲盛和夫氏は、「自分の能力やわずかな成功を鼻にかけ、傲岸不遜になるようなことがあると、周囲の人たちの協力が得られないばかりか、自分自身の成長の妨げにもなるのです」と述べています。心に突き刺さります。わたしが1994年に作ったキーワードは、「なった気するな」でした。まだまだ未熟ですが、「いい気になってはいけな」と、自分を戒めています。

(中小企業診断士)